

# 商工会議所 おばこ共済

平成28年12月から鶴岡商工会議所生命共済制度が新しく変わります。

## 保障内容

ガン死亡保険金に代わり、新特約“ガン重点保障型生活習慣病一時金特約”により、3つの一時金が給付されます。入院給付金は、日帰り入院からお支払の対象となります。

保障内容 (一口あたり)	現行	リニューアル後
死亡・災害保険金(主契約)	550万円	550万円
高度障害保険金・災害高度障害保険金	550万円	550万円
死亡・高度障害保険金	110万円	110万円
ガン死亡保険金	220万円	なし
入院給付金 (所定の不慮の事故により入院されたとき)	日額3,740円 所定の不慮の事故により5日以上入院されたとき (同一事故による入院は通算60日限度)	日額3,740円 不慮の事故により1日以上入院をしたとき(同一事故による入院は、更新前の入院日数を含み通算60日限度)
ガン入院一時金 (1年に1回限度)	なし	4万円 ガンで1日以上入院(日帰りを含む)をした場合
6大生活習慣病入院一時金 (1年に1回限度)	なし	2万円 6大生活習慣病で1日以上入院(日帰りを含む)した場合
ガン先進医療一時金	なし	10万円 ガンの治療を直接の目的とした先進医療による療養を受けた場合

## 月額掛金

(一口あたり:円)

保険年齢	現行		リニューアル後	
	男性	女性	男性	女性
15~50歳	1,550		1,550	
51~55歳	1,865	1,616	1,899	1,549
56~60歳	2,084	1,681	2,240	1,656
61~65歳	2,411	1,813	2,751	1,898
66~70歳	3,081	2,072	3,761	2,274
71歳	加入できませんでした		4,600	2,716
72歳			4,911	2,893
73歳			5,336	3,117
74歳			5,791	3,360
75歳			6,295	3,624

※平成28年12月1日から、鶴岡商工会議所生命共済制度の内容が、右記のように変更されることから共済加入事業所様の同意が必要となり、共済推進員が制度変更の説明のため訪問いたしますので、よろしくご協力とご理解を頂きますようお願いいたします。

## 制度の概要

加入要件	現行	リニューアル後
会員事業所	現行どおり	
年齢が15歳~70歳	15歳~75歳	
全員加入(福祉団体定期保険)	任意加入(定期保険団体型)	
口数	現行	リニューアル後
15歳~70歳 最高4口まで	15歳~65歳 最高4口まで 66歳~75歳 最高2口まで	
年齢による掛金体系	現行	リニューアル後
年齢が15歳~50歳◎男女同一料金	現行どおり	
51歳~70歳◎5歳毎男女別料金	現行どおり	
		71歳~◎1歳毎男女別料金

# LOBO 全国商工会議所 早期景気観測調査

QUICK SURVEY OF LOCAL BUSINESS OUTLOOK

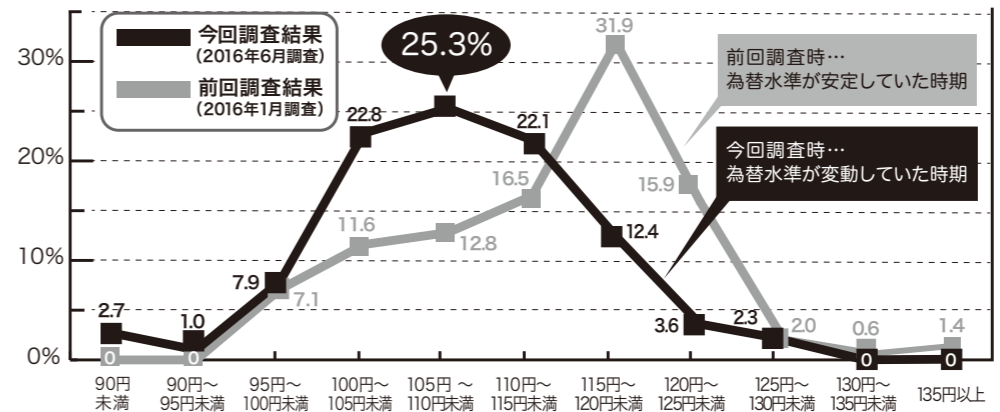
## 業況悪化。 先行きも慎重な見方続き、 ほぼ横ばいの動き

6月の全産業合計の業況は、前月から悪化。本調査期間は英国のEU離脱の決定前であることに留意が必要です。人手不足や人件費の上昇が足かせとなる中、消費低迷の長期化や円高進行による受注減に加え、株価・為替の不安定な動きが中小企業のマインドを下押ししています。堅調な観光需要や、原材料価格の下落、春から値上がりしているものの依然として低い水準にある燃料費の恩恵を指摘する声は聞かれますが、中小企業の景況感は足元で弱い動きがみられています。

業種	業況	売上	採算	資金繰り	仕入単価	従業員
建設業	↓	↑	→	→	↑	↑
土木工事業	「公共工事が低調なため、少ない案件を取り合い、同業他社と価格競争となっている。一方で燃料代は上昇傾向にあり、採算が悪化している」					
建築工事業	「生コンクリート以外の建材価格は下落しており、特に中国の生産過剰により、鉄鋼価格の下落が目立つ」					
一般工事業	「地域の市町村は公共工事を早期発注しているため、売上は改善した。ただし、地域間で発注量に大幅な格差がある」					
小売業	→	↓	→	→	→	→
百貨店	「個人消費の低迷は深刻であり、衣料品と高額品の売上は前年同月を下回っている。お中元商戦が売上回復の起爆剤となることを期待したい」					
商店街	「夏のセール待ちで衣料品を買い控える顧客が多く、依然として業況は厳しい」					

## 付帯調査 経営上望ましい為替水準

自社の経営上望ましい為替水準(全産業)は「105円~110円未満」が25.3%と最も多く、「100円~105円未満」が22.8%、「110円~115円未満」が22.1%、「115円~120円未満」が12.4%と分散した。



## 中小企業の声

外国人旅行者の来店は増加しているものの、このところの円高により一人当たりの消費額は減少し、全体として昨年の売上げを下回り始めている。(京都 百貨店)

為替相場が不安定なため、取引先からの受注量の変化が大きくなり、計画的な設備投資ができない。(佐世保 機械部品加工業)

■望ましい為替レートの推移を見ると、調査時点前の一定期間における為替水準が安定している場合には特定のレートに収斂し易く、変動している場合には分散し易い傾向が見られる。

## LOBOの概要

商工会議所のネットワークのもと、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景気感」を全国ベースで毎月調査するとともに、月毎にテーマを設定して付帯調査(例:設備投資や採用・賃金の動向等)を実施・公表することにより、企業を取り巻く経営環境や直面する課題等の現状を示すデータとして、経済対策に関する政策提言・要望活動などに活用することを目的としています。

2016年6月  
調査結果

DI値の傾向 ▲改善傾向 →ほぼ横ばい ▼悪化傾向  
※DI値について/売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、景気感の相対的な広がりやを意味する。

業種	業況	売上	採算	資金繰り	仕入単価	従業員
製造業	→	→	↑	↑	→	↑
自動車部品製造業	熊本地震による製造ライン休止の影響がなくなり、業績は回復した。消費税率引上げの延期による、国内消費の好転を期待したい」					
食料品製造業	売上は順調に推移しているものの、原材料である豚肉などが高騰しているため、収益が圧迫されている」					
電線・ケーブル製造業	「円高の進行により、仕入価格減少等のメリットがある反面、外貨建の債権には為替差損が生じている」					
卸売業	↓	→	→	→	↑	→
繊維品卸売業	「業況、売上ともに堅調に推移しており、顧客からの増産要請に対応するため設備投資に乗り出した。しかし、設備費は数年前と比較して1.5~2倍程度となっており、資金繰りに苦慮」					
農産物卸売業	「天候不順などにより、農産物の品質が悪く、取扱数量は大幅に減少している。今後もこの傾向が続く見込み」					
サービス業	→	→	→	↓	→	→
運送業	「夏に向けて飲料品の出荷量が増加してきたことを受け、売上は改善。また、足元の原油価格は上昇しているものの、前年比では依然として低水準にあり、採算もとれている」					
ソフトウェア業	「システム開発の引き合いは依然として多いが、人手不足のため応じきれず、売上の増加に結びつけられない」					
写真業	「ジュンブライド」の時期にもかかわらず、婚姻数の減少や競合激化で業況は厳しい」					